

## 地名の由来

### 塩原

シオは「塩」、バラは「野原」または「平原」を意味する。塩原は、かつて岩塩が生産されていた山岳地帯の平原にある。町の名前の由来に関する他の説によると、武将塩原八郎（生没年不詳）の名前から来ているということである。

### 大網

文字通り、「大きな網」。この地区は、魚が川を遡上しているとき、魚が岩と岩の間に閉じ込められたので、川沿いの険しい崖から吊るした大きな漁網で魚を捕えることができた場所として知られている。

### 福渡

この地域では風が非常に強く吹くため、追い風があれば、ペダルを踏まなくても自転車で坂を上ることができると言われている。フクは「吹く」を意味し、ワタは「渡る」を意味する。しかし、時が経つと、「吹く」の漢字は、「幸運」を意味する同じ発音の別の文字に置き換えられた。

### 野立岩

江戸時代（1603～1868年）にこの地域を旅したある領主が、この岩の上で野営したと言われている。ノダチという言葉は、長期の旅行中に駕籠をとめて短い休息を摂るときに使われていた。

### 塩の湯

文字通り「塩の泉」。この地域の温泉は、塩原で最も塩分濃度が高い。

### 塩釜

塩原で最も熱い温泉。言い伝えによると、以前この温泉の湯は、水から塩を蒸留するときにはやかん（釜）を温めるために使用されていた。

### 畑下

八夕は「作物用の畑」を意味し、オリは「下」を意味する。この地名は、畑の南、すなわち「下」に位置していることから名づけられた。

#### 門前

文字通り、「門の前」。妙雲寺の門の外にある集落。

#### 古町

文字通り、「旧市街」。下塩原で最も古い町である。

#### 新湯

元湯の浴場は地震で埋まってしまったが、その後、地元の人々が文字通り「新しい泉」を意味する新湯の温泉に事業を移した。

#### 元湯

文字通り、「源泉」。塩原で最初に発見された温泉がこの近くにあると考えられているが、もともとあった温泉浴場は1695年に地滑りによって埋まり、その後、現在の温泉が掘られた。